

戦災復旧客車

(スユニ 72/ マユニ 78・マニ 72・スニ 73・マニ 74・スニ 75)

野鉄工機の型紙をお求め頂きありがとうございます。

・型紙の特徴

本品型紙は、鉄道模型を製作される際の参考となるよう、必要なケガキ線を素材に印刷するための線画データ、及び解説文のデータです。本品だけで完成させることはできません。素材となる用紙等、屋根や窓ガラス、各部のディテール製作用の素材、塗料、工具などを、必要に応じて別途御用意下さい。

・想定している印刷用紙

本品は、主要部分について厚さ 0.3mm 程度のケント紙に印刷して製作することを想定して設計しています。なお、木製の扉の部品等、より薄い用紙を使用の方が良好な仕上がりとなる場合もありますので、適宜御選択下さい。

・本品の部材の構成

本品に含まれるデータは、車体部分の構成部品のケガキ線です。側板は 2 枚重ねで窓枠等のディテールを表現し、うち外側の部材は左右の側板と屋根を一体として折り曲げて車体形状を構成します。妻板は 2～3 枚重ねで、妻板を接着することで車体幅や屋根部分の曲面形状を保持します。車体本体以外の、雨樋または水切り、窓上下の補強帯（ウィンドウシル・ヘッダー）、屋上の通風器、床板及び床下機器、台車、貫通幌などの部品は含まれませんので、別途御用意下さい。

・本品の製作時期

本品の元データは 1996 年～2005 年にかけて、原寸手描きで製作したものです。当時の資料や制作環境、設計精度の制約により、寸法や記載内容に不正確な点が多くなります。悪しからずご承知置き下さいませ。

！注意

本品は、鉄道模型の知識の無い方には適しません。

各種工具や塗料、接着剤などを使用される際は、それぞれの説明書を良くお読み下さい。

配布元：野川電鉄アーカイヴ <http://ww36.tiki.ne.jp/~lingnoga/>

連絡先：野川 lingnoga@wing.zero.ad.jp [twitter:@noga_den](https://twitter.com/noga_den)

データ作成 2020 年 5 月 5 日

国鉄スユニ72・スユニ78形郵便荷物車

面看とて、昭和復旧のオ71形、オ77形、オ78形（昭和22年度復旧）を、昭和28-29年度改造したもので、形式の違いは台車（オニ72：TR23、オニ78：TR73）による。郵便荷物車への再改造は当駅横田宿車の中では最も遅い方で、その中心の雨樋が準備できたほど状態は良い。スユニ60・61・50等の増備により本来に廃車または事業終了時に取回された、救援車として国鉄解体時まで一帯が残った。スニ78 15は、現在も横田工区に使用。

組立に必要なもの

- 床板、床下機器
- ガラス板（雨どい、手すり）補強等
- 台車（TR23/TR73）
- 窓枠
- 下リレレ
- 臭気機
- 1999 郵便工機

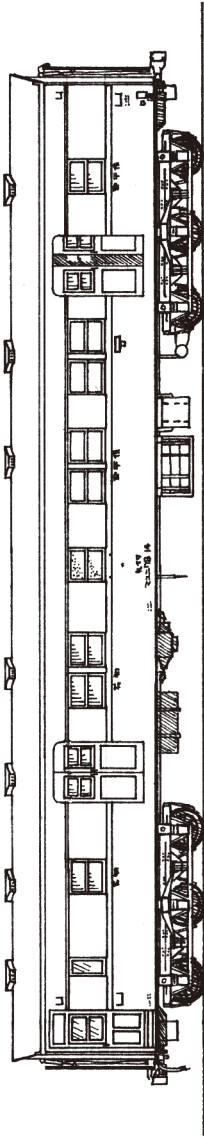
紙、ガラス板等（レール、雨樋等）

金属線材（雨どい、手すり）補強等

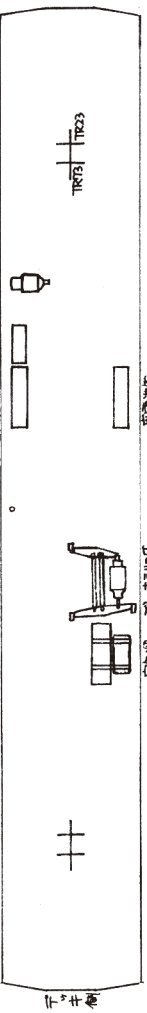
塗料（腐蝕防止、易剥離、防腐）

シタリング用品

工具、補強材等



床下機器配置図（1/50 原寸、裏返して下から見た図） 赤い管



1/150 型紙
 スユニ72
 マユニ78

◦組立上の注意

デッキ回りは若干複雑な構成になっております。誤り等生じない様、注意して組立て下さい。
 デッキ扉の内貼りの下端は直角に折り曲げてステップとなります。

なお、デッキ扉には市販の金属製パーツも使えます。
 屋根には茅葺と両植が出来ます。敷植は丸管です。
 屋根のカーブは、昔風の田舎家と同一です。

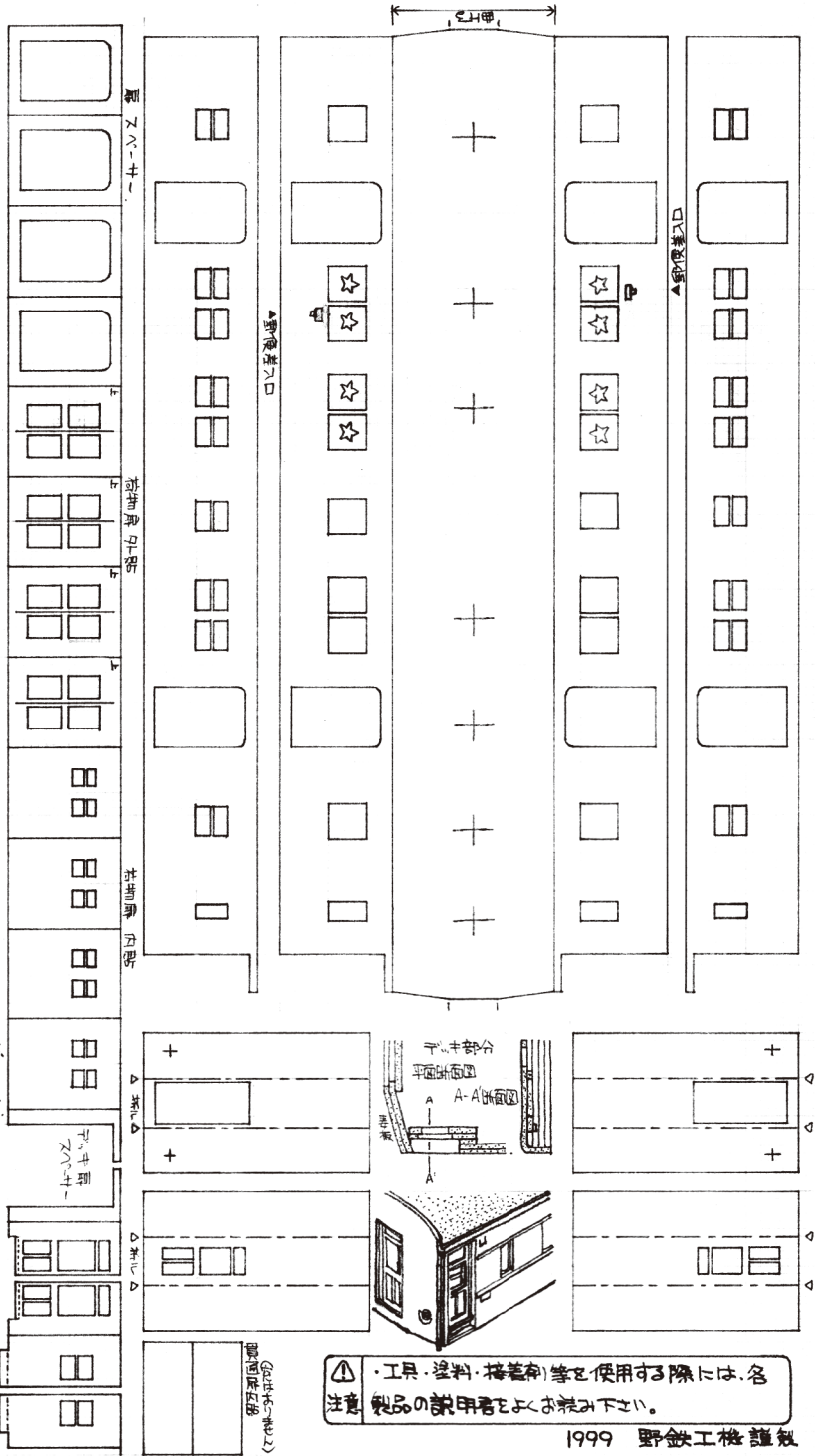
☆印の窓については、埋め込式の車輪が出来ます。
 (例: 7824, 25)
 車体折曲外幅 18.5mm

台車
 スニ72: TR23
 マニ78: TR73

◦各扉の部材については、本図のままですとが、ごいじり仕上がりになります。薄手の紙にコピーして用いることも可能です。

◦印刷面が表です

野鉄工機の型紙
 ・マニ72
 ・スニ73
 ・マニ74
 ・スニ72/スニ78
 ・台車TR23/TP2700
 他各種
 A5判 1枚 30円
 1999年12月現在



⚠ 工具・線材・接着剤等を使用する際には、各注意 製品の説明書をよく読み下さい。

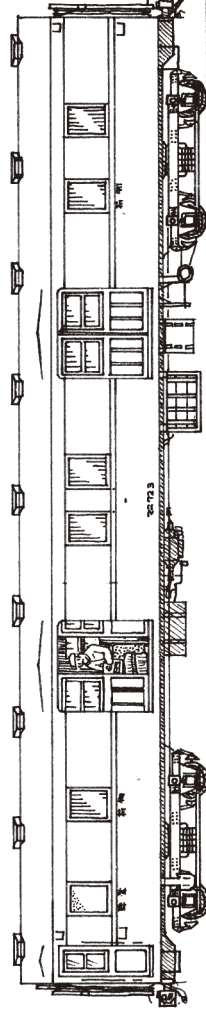
国鉄マニ72型荷物車

1950/昭和25年に製造された最後の戦災復旧車。
 采用されたのは台枠(電津のもの)のみであり、車体は
 新造に近いので、復旧車の中ではかなり状態が
 良い。

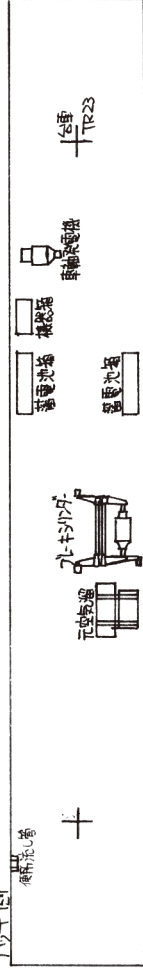
その後、マニ60・35・36等の増備により、次第に故障
 車(スエリ)に改造、あるいは廃車となった。荷物車とし
 て使われたのは1960年代いっぱいまで、スエリも1980
 年代までにほぼ廃車となった。

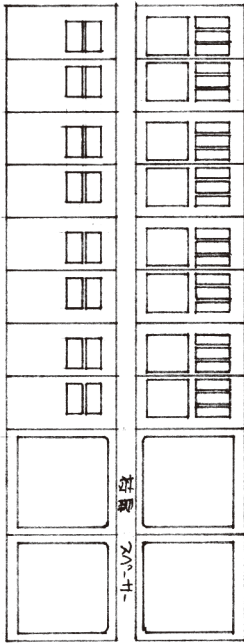
・組立に必要なもの

- 床板
- 床下機器
- ガラントリバー・フレター
- 養生幌
- 台車 (TR23)
- 窓枠子
- テールライト
- 素面梯子
- 糸、アワ板等 (シム・パイプ・水切り他)
- 真鍮釘金 (手摺)
- 塗料 (車体がぶらぶら、床下黒、屋根灰)
- シタリノケ用品
- 接着剤・工具



マニ72 床下機器配置図(下が5見た図)高原村





1/150 1/20 キット
国鉄マニ72

組立上の注意

雨とい・キャンパス押えはあり
ません。よて、布張り屋根
の感じを出るために、薄紙・
トレートペーパー等を23X129mm

に切って屋根に貼って下さい。

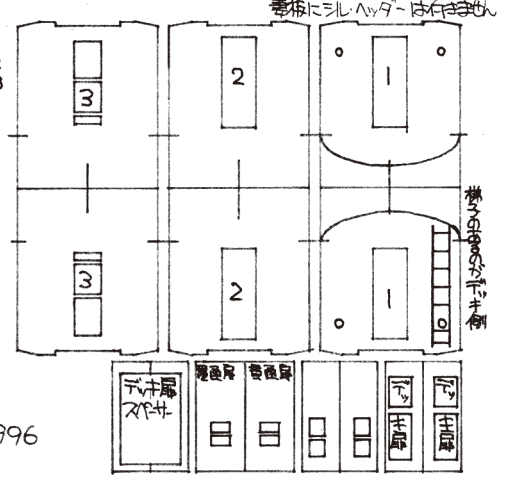
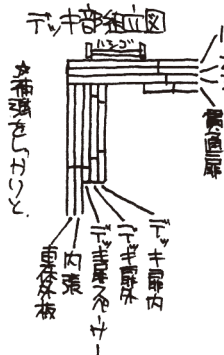
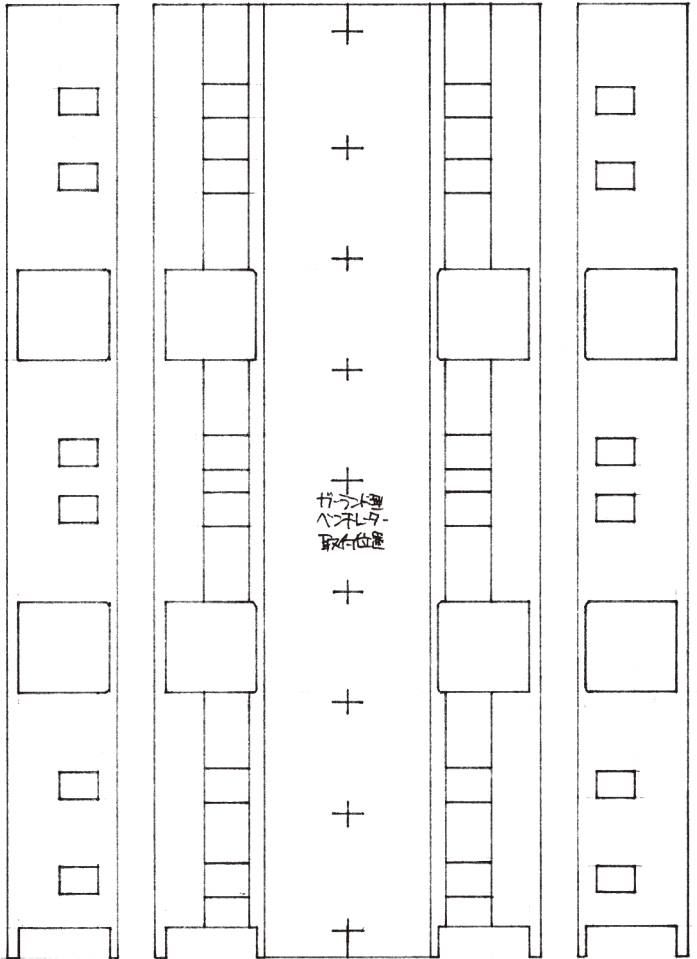
扉上には入の字形の水切り
が有きます。また、バン
プレターの取付位置が分か
らなならない様。

扉の切板が面割であれば、
各社が出ているエッジング製
パーツが加工の上使用も可
能です。

車体折曲幅16.5mm.

屋根のRは旧国と同じです。

台車はTR23(平車受)



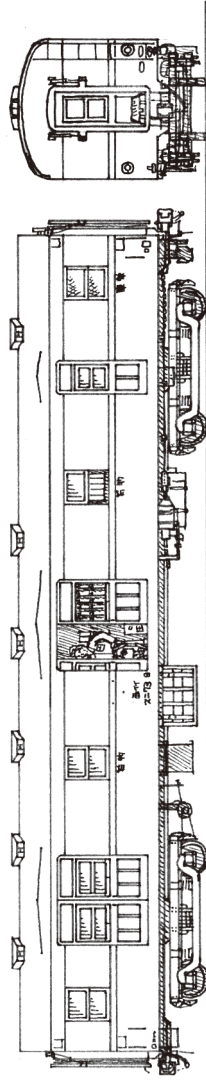
製作：野崎工機 1996

国鉄スニ73型荷物車

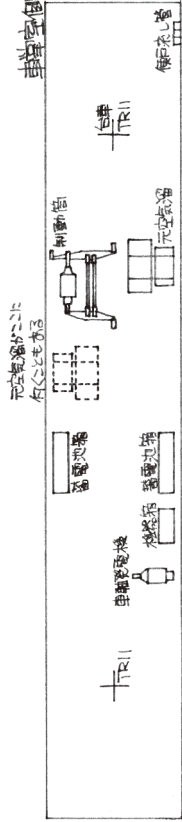
昭和23~24年にかけて17m級車輜を復旧して作られたオハ70型のうち、電輜が改造されたものを、昭和25年ごろ荷物重に再改造して生まれたのがスニ73である。本品は車体上が改修手加えされたものをプロトタイプとしている。台車34軸が改造され、1965年頃まで荷物車として、その後一帯オハ70型と同一1985年頃まで使用された。

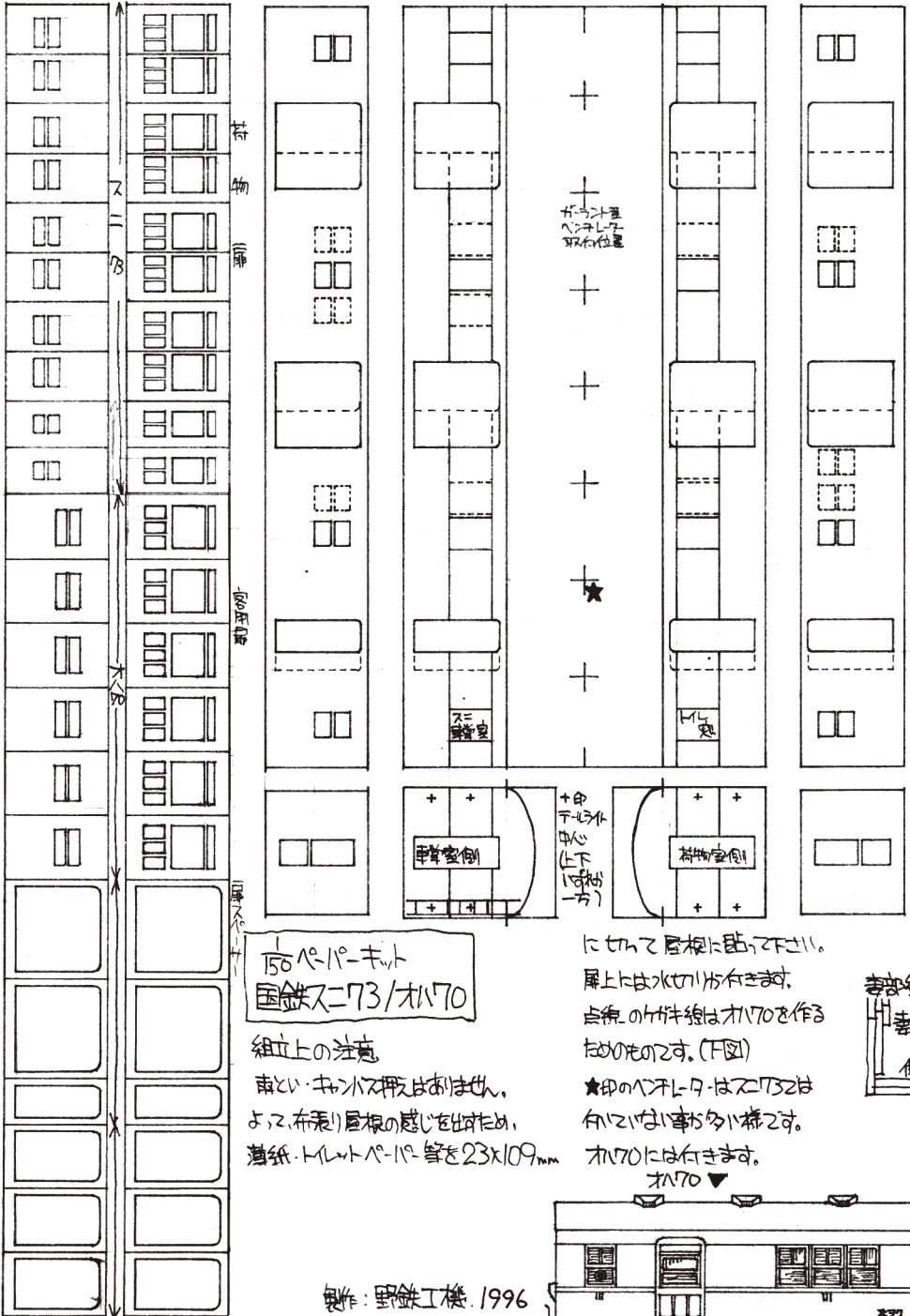
。組立に必要なもの

- 床板
- 床下機器
- ガラスパンプレート
- 貫通幌
- 台車 (TR11)
- 定石椅子
- 下リライ
- 巻面梯子
- 紙、ガラス板等 (シシヤ、水切)
- 真鍮線 (手摺等)
- 塗料 (車体は各色2号 床下異屋根銀裏灰)
- レタリング用品、工具、接着剤



スニ73/オハ70 床下機器配置図 150 原寸





150°ペーパーキット
国鉄ス=73/オハ70

組立上の注意
車とい・キンス押反はおはせぬ。
よ、布表り屋根の感じを出すため、
薄紙・トレットペーパー管を23x109mm

にシテ屋根に貼、下セリ。
扉上には水切りがあります。
点線のナリキ線はオハ70を作る
ためのものです。(F図)
★印のハネレタはス=73では
ない、オハ70には行きます。
オハ70



参考：国鉄工機、1996



国鉄マニ74型荷物車

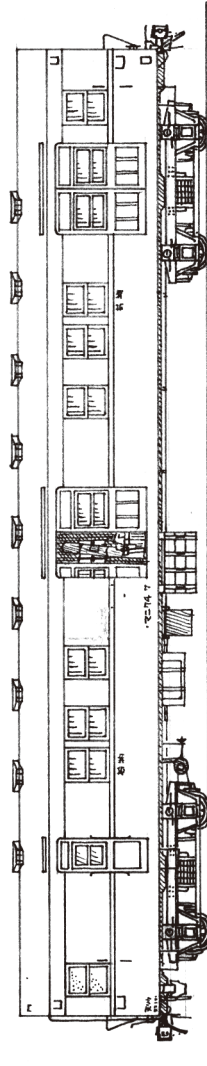
電車を復旧して昭和23~24年に作られたマニ7100番台も、昭和25~26年に再改造して作られた荷物車。同形式で荷物

車を復旧されたものはマニ74 50番代 50~81名もある。1960年代にはいまだに荷物車として使用された電車もな。他型式に改造されたものは少ない。本品はマニ74 0番代の標準的な姿。

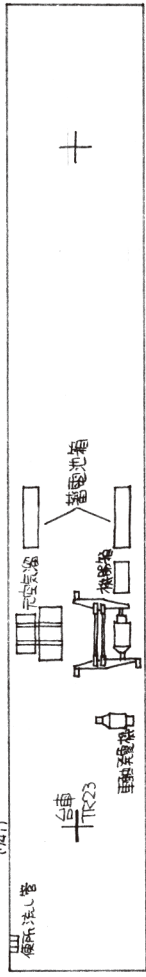
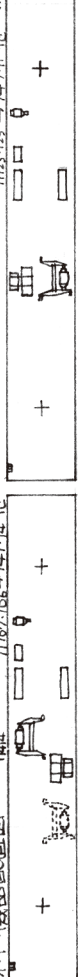


・組立に必要なもの

- 床板, 床F機器
- ガラス型パンシタ-
- 台車 (TR23)
- 窓ガラス
- テ-ルライト
- 妻面様子
- 紙, プラ板等 (水切り), シ-ルハ- (他)
- 金属線材 (棒すり), 補強 (他)
- 塗料 (単体さび止め, 屋根塗料, 床F用)
- シタ-ンク用品
- 工具類
- 接着剤



床下機器配置図 71102.104 → 74.14 他 (74.1)



マニ74の図として下から見た図

組立上の注意

雨とい・キャンバス押えがつかっておりません。よって、布張り屋根の感じを出すため、葺紙を22.5×129mmに切り、屋根に貼って下さい。パンチレタ-取付位置が解からなくならない様に。

点線はオハ7100を作る時のものです。使用する扉が異なります。

扉については、国電用エング製市販パーツの中に使用可能なものもあります。また、本品より薄い紙にコピーして作る方が感じは良いかもしれません。

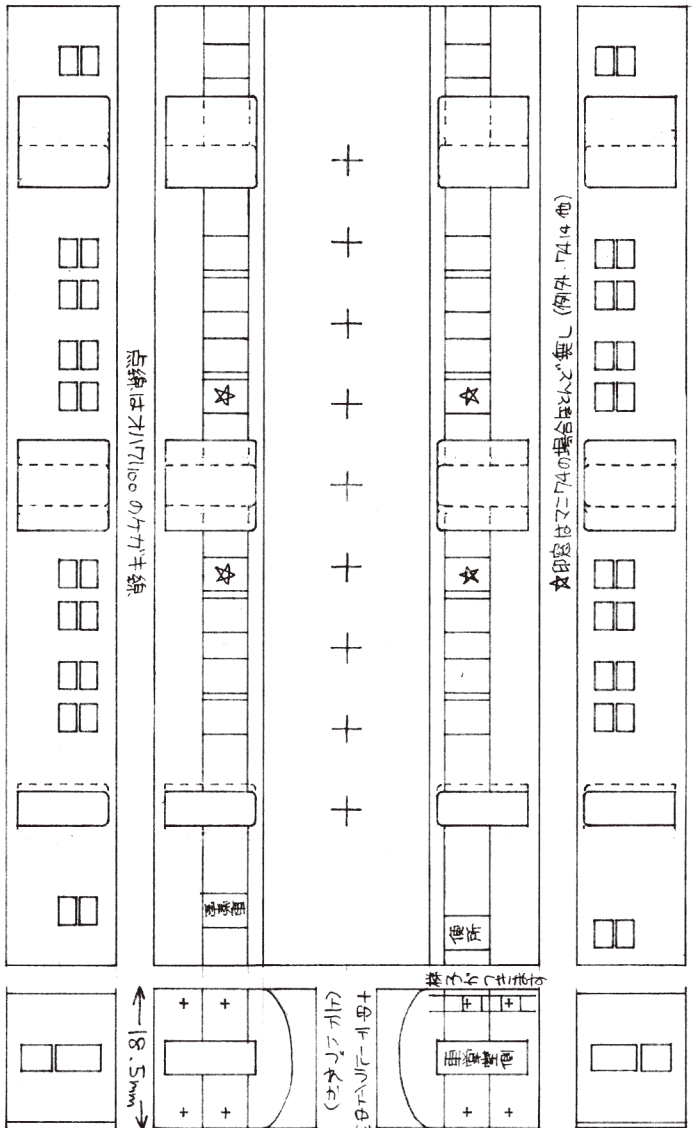
資料・とくいん 1995.11/12月号

国鉄電車 電車ガイドブック 旧版

1998 野鉄工機

注意・製品の価格上、工具の取扱が伴います。各工具の説明書をご覧ください。・塗料・接着剤を使用する際は換気に十分気を付けて下さい。

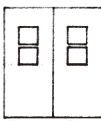
	ノック 扉 取 付 部	



★印はマニ74の場合とは異なり(例マニ74他)

車体組立
扉板
側板

★印は面が表



車体TR23 車体外幅18.5mm
他 別紙参照のこと。

1/100 1/100 キット
マニ74%
オハ7100

				荷
		車外貼 オハ7100	国電用 マニ74	荷
			車体 側板	荷

国鉄ス275形荷物車

17m級の荷物車。房車を後日して作られた170形の25、客車に準じた寸法の車体を持つ車輦を昭和27-28年頃改造して作られた荷物車。元客車のものと元客車のものとは、台車の違いが直端・豊根の造作が異なる。昭和30年代まで荷物車として使用された後、一部はス170形政振車に再度改造され、国鉄末期まで現存した。

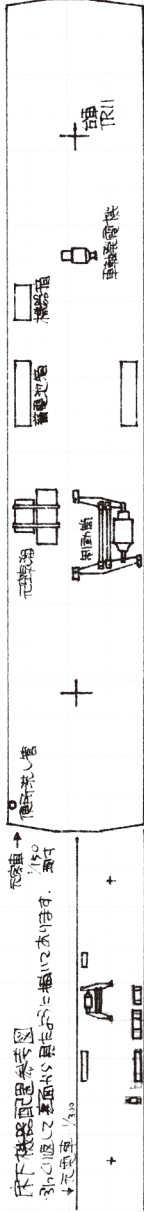
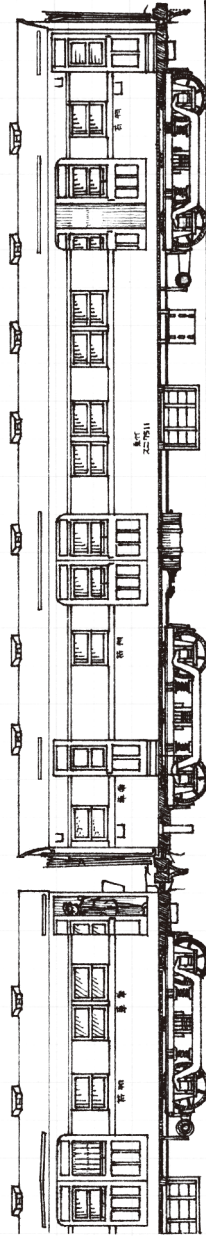
参考文献: 『カハシ』250号(1995.10)72頁、74頁、75頁

『日本の客車』日本の国鉄機立と客車、鉄道図書刊行会 1963

参考サイト: 「国鉄荷物車活脚館」<http://www.linkclub.or.jp/~jubyoko/>

- 組立に必要なもの
- 床板: 床下機器
- 台車 (TR11形)
- バンシレター
- 電燈機
- フレイム
- 妻面梯子
- 滑車等 (股線、シムス)

- 角材等 (補強)
- 塗料: 接着剤
- その他工具等

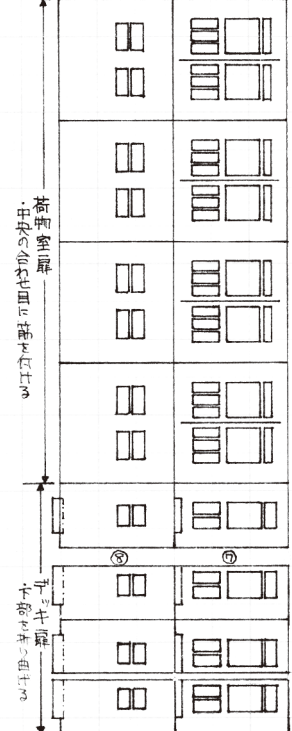


1/50 模型型紙
国鉄
スニ75形 特
 急車

組立上の注意点

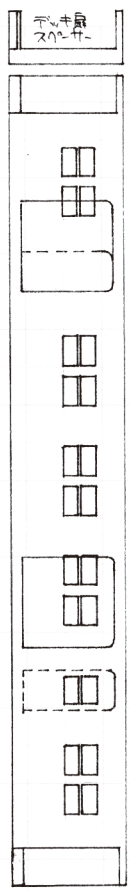
平巻 折巻の両方に
 組み立てられます。
 雨樋はおまさんの
 布貼り屋根を表現
 するため 車体組立
 後に塗装を折巻
 22×131mm 平巻
 22×124mm 折り
 出し屋根に貼り
 整平して下さい。
 各扉には エッチング
 製の扉取っ手も使
 える場合があります。

車体折巻外幅 18.5mm
 印刷面が表ですが、
 裏返して WC 位置の
 方が運転側になります。



注意 組立作業中、工具・接着剤・塗料等を
 使用する際は、それぞれ取扱説明書をよく読み下し
 てください。

扉スパーサー



☆印の窓・点線の扉の枠枠線は、1/170を作る為のものです。
 ・電車台枠使用車(平巻)の場合はこの☆を一直線に切り下下さい。

